那賀防火管理協議会
会員視察研修

那賀防火管理協議会の会員視察研修ということで、１１月１８日（月）神戸空港消防所と神戸市民防災総合センターを訪れ、防火防災に関する研修を受けました。

「神戸空港消防所」は、空港での万一の航空機災害に備えて大型化学車などが配備されており、空港が開港している時間の間、空港消防隊が勤務についているとのことでした。空港消防隊の管轄は、滑走路とその周辺の敷地で、ターミナルでの建物火災などは管轄外で、神戸市消防局が管轄となるそうです。日常の街中にある消防署とは様々な面で違いがあり興味をもって学ぶことができました。

「神戸市民防災総合センター」では全国で初めて、VR（仮想体験）機器による土砂災害体験を神戸市民を対象に行われており、今回、当協議会も特別に受講体験させていただきました。

体験では、臨場感のある土石流の様子が映し出され、土砂や石、倒れた木々、土石流で流されたバイクなどが、逃げ場がないほど自分の身にふりかかり、逃げることが困難となってしまいました。このような状況では避難しても、その途中に土砂災害に巻き込まれ命を落としてしまうと実感しました。

　今後も起こりうる巨大台風や豪雨災害に対して、発令された避難勧告時、適切に避難する、命を守る行動をとるということの重要性を再認識する貴重な研修でありました。

神戸空港消防所にて

ファイヤーこうべ１

空港用大型化学車で、積載水は 12、500L
巨大なボディーではあるが、最高速度は
110ｋｍ/ｈとのこと。

ファイヤーこうべ５（医療搬送車）とファイヤーこうべ２

医療搬送車には、救護所用に救急資機材が積載され、大型旅客機ボーイング 777 の乗客 75%にも対応可能となっている。

ファイヤーこうべ２　空港用大型化学車で、積載水は 6、000L

神戸市民防災総合センターにて

VR ゴーグルをつけて、
土砂災害の体験中。足元の道路は全面冠水し、川のように泥水が流れ・・・

土石流が押し寄せ・・・

訓練塔を使っての
「煙体験」

壁は漆黒に塗られ、暗闇と煙で避難する際、「怖さ」を感じるくらいでした。

ベテラン講師のわかりやすい説明もあり、勉強になりました。

火災実験の講義で、「トラッキング現象」や防炎物品の実験を実演中！

事業所における防火対策も講義いただきました